

コートとり当番担当クラブ		
1月	2月分のコート	青葉A
2月	3月分のコート	美佳C
3月	4月分のコート	恩多C

発行責任者 柳 利夫
 住所 東村山市萩山町 5-6-26-301
 Tel. 0423-92-8808
 編集責任者 川村英明

新年おめでとうございます 今年も楽しく頑張りましょう

協議会 会長 柳 利夫



新春を迎え心からお慶び申し上げます。
 昨年も大変に厳しい社会状況が続き、職場や家庭での私たちの生活も生易しいものではありませんでした。そのなかでテニスコートは私たちにとり、思い切って気晴しのできる憩いの場であり、心身再生の場でさえあってくれたと思います。

会員の大方が自分の条件を活かし、昨年も一年間市民テや硬庭連・体育協会・庭連協の春秋大会をはじめとした諸行事に力を出していただきました。とくに、さる12月12日市民センターでの“市民テニスクラブ10周年記念祝賀会”開催にあたっては、担当していただいた実行委員の方々や美佳クラブの皆さんには大変お世話になりました。また当日参加された200名近い会員の皆さんと、市長をはじめ多数の来賓の皆さんにはご多忙の最中、終始した盛会へのご協力をいただきました。改めてお礼を述べたいと思います。唯この10周年行事のなかでいくつかの未処理な事柄があります。その一番大きなものは“10年誌”が未刊であるということです。ぜひ早期刊行に努力したいと思います。

今年は市民テ創立11年目です。100名近い新入会員を迎えました。お互いに気持の通い合った、楽しいクラブ運営に皆さんのちからをかして下さい。そして「頑張る甲斐のあった一年間」にぜひ今年もしたいと思います。

明けまして御芽出度うございます。御一家皆様御健かに、新年をお迎えのことと御祝い申し上げます。

さて私共も、芳郎八十三歳、文子八十歳と、日本人の平均寿命を越し、共にめでたいハの字がつく年齢になりました。しかもこの三月二十六日は、結婚運慶六十周年の日です。振り返って見ますと、よくも今日迄、恙なく送りつづけたものと、感謝の念を全うしたいと思っております。今後は、与えられた余生を大切に、感謝の一生を全うしたいと思っております。

いつも乍ら動物家族は、敬愛をしいブードルのチビちゃん、古代エジプト猫の後高トット、ニアンク・ニアメンのほか、仲良しの小鳥たち十羽、五種位から育て、今は四十種以上に成長した錦鯉四十匹と、中々賑やかです。

私共は、春から秋の終りまでチビのほかに留守番を頼んで、月の半ばは、浅間の煙を庭先に眺めながら、北軽井沢の山の空で、文明から離れた自適の生活をしていきます。ここに、近況をお知らせして新年の御挨拶と致します。

昭和五十八年一月一日

千原 東京都東村山市萩山町三ノ二ノ二

電話 〇四二三一九三二九八一

太田 文芳 子郎

市民テ協議会 創立十周年 記念祝賀会 盛大に開催

去る12月12日(日)3時より市民センターに於て、各界の来賓を迎えて総勢200余名が集まり、賑やかに誇りと喜びに溢れた祝賀会を開きました。会場正面には、左右に太田名誉会長と柳会長のにこやかな似顔絵を配した祝賀の字幕と市民テ・マークが美しく飾られ、花で飾られた来賓席につづいて、山盛りのご馳走と飲みもの、それに子ども達のテーブルが、会場いっぱいには並べられていました。

祝賀会は笹野井事務局長の開会のことばで開幕、前半(第1部)は長井さんの司会で進められました。柳協議会会長の挨拶、儀間さんから10周年に至る経過と10周年記念事業(①10年誌の編集・刊行 ②市民テ・マークの制定 ③記念植樹 ④クラブ対抗試合 ⑤祝賀パーティー)について報告されました。つづいて、ご多忙中をおいで下さいました来賓の方々の紹介があり、熊本市長、田口体協会長からご祝辞をいただきました。なお、来賓の方々は次のとおりです。記して感謝の意を表わします。

《市・体協関係》 熊本市長、田口体協会長、桜井体協理事長、田口体育課係長、早坂体育課職員。《庭連協関係》 房前会長、石橋副会長。《硬庭連》 森副会長、丸山理事(明治乳業)、佐藤理事(レナウン・ルック)、植野理事(木星会)、栗原理事(大沢精密)。《軟庭連》 和久井連盟理事長、宮沢連盟歩外部長、隅川美クラブ会長。《その他》 関先生(一橋大学教授)の皆さんです。

このあと、高齢にもかかわらず長い間、市民テの発展のために尽された功績を称えて、協議会より感謝状の贈呈が行われました。現・相談役の浦川さん(恩多クラブ前会長)、阿辺川さん(本町クラブ前会長)、ご苦労様でした、有難うございました。

ここで市長、太田名誉会長、柳会長の3人で鏡をぬき、太田先生の音頭で乾杯し、パーティーは賑やかに盛り上がり、ご馳走と飲みものが入るにつれて和やかに満ち足りた雰囲気の中で、笹野井事務局長より市民テ・マークの選定と決定について、武谷技術部長からクラブ対抗試合と結果について(別記)報告されました。

このあとしばし、テーブルの上のものを取組むべく、祝賀会は後半(第2部)の忘年会を兼ねた歓談、各クラブの工夫をこらした出し物に移り、ユーモアあふれる河野さん(美佳クラブ会長)の司会で祝賀会は爆笑のうちに最高潮を迎えました。市民センターの広い会議室も笑いとおどろきにみちみち、折からの雨雲を吹き払うかのようでした。まさに10周年の締めにあふさわしい会となりました。

末筆になりましたが、裏方で準備・運営に労を惜みず協力下さいました方々——祝賀会総括責任者の長井さん、生け花の山口さん、藤田さん、字幕と似顔絵の杉山さん、子ども担当の黒岩さん、飲物調達の三安夫人、買物の江原夫人、写真の早川さん、受付の桑原さん、それに美佳クラブの河野会長とクラブの皆さん——本当にご苦労様でした。“みんなの力で創っていく”市民テのころにあふさわしい祝賀会にできたことを、共に慶びたいと思います。(文責 川村)



- ① 『市民テ協議会十年誌』は2月中に刊行の予定です。内容は、年譜、座談会、私とテニスなど、お楽しみに!
- ② 写真(10周年記念の祝賀会およびクラブ対抗試合)ができました。希望者はコートで申込んで下さい。
- ③ 左上の図案は正式にきまりました市民テのマークです。解説は次号でいたします。



私とテニス <57>

恩多クラブ 松井光子

私がテニスを始めたきっかけは主人が市民テニスクラブにお世話になっていたもので、とってもいい雰囲気だからと勧められました。今年で四年目を迎えますが、運動神経の鈍さも手伝って、いっこうに進歩しません。いまでは、私は健康のためにやっているんだ、楽しければいいやと思うようになりました。でも、やっぱり少しずつでも上手になりたい、だから一球でも多くボールにさわりたいと思って、自分の身体の許す限りコートに通っています。コートでは、指導者の投げてください一球一球を大事に打って行こう、ボールをよく見て早くラケットを引いて、前足に体重をかけて、手首を使わずラケットを前に押し出すように振ろう……。と頭ではわかっていても身体の方は一向に思うように動きません。あけくの果ては、つい夢中になってしまい、足の関節を痛めてしまいました。

そんな時、テニス仲間の人達から何時も暖い励ましの声をかけていただき、いいお医者さんまで紹介していただいて、お陰様で今もテニスを続けております。テニスを通して、親切な奥様達とお知り合いになれたことを心から嬉しく思っております。

主人もテニスクラブの雰囲気をとても好きな様子で、今では家族全員(4人)がお世話になり、楽しんでおります。市民テニスクラブも十周年を迎えたとうかかって驚きました。これまでのご苦労に対して心から感謝するとともに、今後市民テニスクラブの発展を心からお祈りいたします。そして、これまで知り合えた友達を大切に、末永くテニスを楽しみたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



立川市との対戦の思い出

(恩多) 山口悦子

立川市・石橋氏より、懇親試合のお招きを戴いたので。恩多クラブの総会の折、是非実現して欲しいとの依頼を受け、中根会長を通して、メンバー集めの使命を受けました。私は、何にしろ楽しむテニスをもットーにしており、試合という形式はたまたまの苦手なのです。

しかし、頼まれれば断わりきれないのが不届いしてか、メンバー集めをしなければならぬはめになってしまいました。結局、私達月曜日にやっている「すみれ会」(市民テの中でも古株の集まりで、勝負にこだわらず和気あいをモットーに、笑いの絶えない、しわ作りの会でもある)を中心に、日頃親しんでいる方達を交えて東村山チーム12名を結成し、立川市に遠征したのです。立川のメンバーは、テニス歴2年位とのことでした。しかし、テニス歴とは、何を基準にしているのでしょうか。毎日やっても、週1回、月1回でも、テニス歴2年とは、ちょっと不公平のように思われますが……。

さて理屈はぬきにして、いよいよ実現の運びとなりました。10月18日(月)、それはそれは好く晴れた、絶好のテニス日和でした。砂川丸番の近くにある「いなげや」の定休日を幸いに、駐車場を拝借し、すぐ後ろにある「立川ローンテニスクラブ」に入りました。我々の市の施設とは違って、手入れのよく行き届いた高級なハードコートが、とても素敵でした。

さて、石橋氏を交えて、メンバー同士の軽い挨拶の後、「東村山対立川」戦が展開されたのです。あくまでも懇親という事を考慮して、組み合わせも色々でした。1人3試合ずつで、6ペア・18試合。結果は15勝3敗で、かなり優勢の模様でした。我がチームは、平均年齢も少々上のようでしたが、キャリアの方も少し長いようでした。内容的には、どの試合も仲々充実したものだったと思います。さすがに、石橋コーチにみっちり指導を受けている様子がありありと見受けられ、特にサーブとストロークがとても安定していて、フォームがきれいでした。やはり、基礎練習の大切さを今さらながら身にしみて感じました。つい苦しいこと、つらいことを避けようとする年代になった自分が、少々恥かしくなってきたのです。楽しい時を過ごすうちに4時過ぎになってしまい、(右下へ)オ

10周年記念 クラブ対抗戦を終わって

久米川コート開門9時前に数十名、9時ちょうど過ぎには110名余りの選手の方々が集まりました。そして緒戦の終わった1時前までその110余名の方々がそのまま残りました。会員の約3割の方々が時間一杯までコートに残るなんて日頃の定期練習や種々の大会でも極く稀な現象です。それだけではありません。普段練習にちょっと足遠くなった会員の方々が共々自分のチームにやんやの喝采を送り、返す刀で相手チームをやじり(!?)、コート5面終日黄色い歓声の絶えることのない2日間(11月21日、23日)となりました。

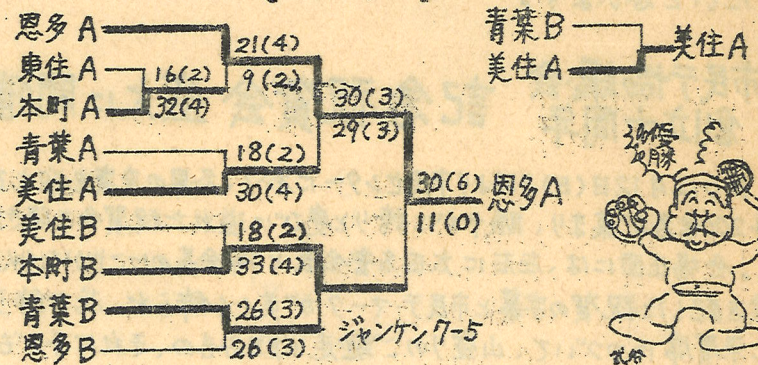
試合のスコアの方もそれに相応しく、例えば、本戦の青葉B対恩多Bでは、勝ちゲーム数、勝ちセット数とも同数となり、遂に選手全員によるジャンケンポン。これも7-5と最後の最後まで気をもたせた試合でした。また、恩多A対美住Aでは、勝ちセット同数、勝ちゲーム数がたったの1ゲーム差という、それも最終試合で決するという接戦でした。その他の試合においても内容的にセット試合が多く見られました。というわけで、優勝チームも1回戦負けチームもどこが勝っても負けても不思議でない大会でした。

秋の天候不順から、この10周年記念大会に当初予定しました個人のリーグ戦が止むなくクラブ対抗という形に変身せざるを得なくなったわけですが、結果的には、団体戦の方がよかったといえます。「福を転じて福となす」とは正にこのことを指すのでしょうか。

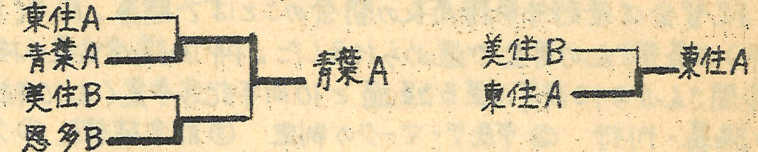
この大会を通して、会員の皆さんの一層の親睦がはかられ、同時にクラブの団結が強まれば大会の意義は誠に大きかったといえましょう。選手の皆さん、関係者の皆さん、思い出、親睦そしてクラブの団結以外に何ら与えられることのない大会でしたが、本当に御協力ありがとうございました。

なお、今回のようなハンデキャップ制の試合を来年もやってほしいとの希望を多くの方から耳にしました。具体的には技術部を中心に検討するとして、是非実現させたいと考えております。(文責:武谷)

<本戦>



<敗者戦>



五市市街道は夕方非常に混雑するということで、残念ながら、早目に失礼しました。

石橋氏と再度の対戦を約束し、これからも腕を磨いて、もう一度楽しい気分を味わえるよう努力したいと願いつつ、家路に着きました。

東村山チーム4参加者

- 中根、桑原、有川、松本、山口、松井
- 小林、増本、石黒、下谷、三原、龍野

編集後記

★青山香雄さんが新婚ホヤホヤです。おめでとうございます。12月19日、中野・サン・プラザで挙式。新居は清瀬です。(ウラヤマレー〜!でもやたらにおしかけてはイケマセン!?……陰の声)

★これから厳冬に向かい地面が凍ります(青山さんのところを除いて)コートでまた往復の途中で転がらないようご注意ください。とくに、早朝のジュニアの人は気を付けて下さい。